

受賞実績

TOP 500 (平成14年6月 ISCにて受賞)

Linpack ベンチマークテストにおいて35.86TFLOPSを達成。これが認定され、並列計算機における計算性能世界No1にランキングされる。その後、2004年6月まで5回連続(半年に1回)で1位を維持している。

ゴードンベル賞(平成14年11月 SC2002にて受賞)

並列計算機を用いた科学技術計算において、性能を含めた最も優れた成果を出した者に与えられる、ハイ・パフォーマンス・コンピューティング分野で最も権威があるゴードンベル賞を、「地球シミュレータ」を用いた研究成果が1位から3位まで独占受賞(他2件が受賞)

【受賞内容】

〔実効性能部門 最高性能賞〕、〔実効性能部門 言語賞〕、〔特別賞〕

Time 「BEST INVENTIONS 2002」に選定(平成14年11月)

米国誌「Time」が選定した「BEST INVENTIONS 2002」に地球シミュレータが選ばれた。

政府主催の「平成14年度情報化促進貢献情報処理システム」(平成14年10月受賞)

第13回日経BP技術賞(平成15年4月)

日経BP技術賞は、わが国の技術の発展に寄与する目的で創設された。毎年一回、電子、情報通信、コンシューマーIT、機械システム、建設、医療・バイオ、エコロジーの各分野で産業や社会に大きなインパクトをもたらす優れた技術を表彰する。

第32回日本産業技術大賞 内閣総理大臣賞(平成15年4月)

日刊工業新聞が主催する賞で、革新的な大型技術、システム技術の開発・実用化で成果を挙げたものに与えられる賞。

21世紀の偉業賞(平成15年6月 ワシントンD.C.)

「コンピュータワールド表彰プログラム(ComputerWorld Honors Program)」が主催。

環境分野の社会的貢献に対して大きな進歩を達成したことで環境エネルギー・農業部門の「21世紀の偉業賞(21st Century Achievement Award)」のを受賞。

受賞実績

ゴードンベル賞（平成15年11月SC2003にて受賞）

並列計算機を用いた科学技術計算において、性能を含めた最も優れた成果を出した者に与えられる、ハイ・パフォーマンス・コンピューティング分野で最も権威があるゴードンベル賞を、「地球シミュレータ」を用いた地震シミュレーション研究の成果が最高性能部門で受賞。

東京クリエイション大賞技術賞（2004年3月）

「時代に衝撃を与えたクリエイションワーク」をキーワードに、文化やファッションから最新テクノロジーまで、幅広い分野で生活文化の向上に貢献した案件を表彰することを目的に、1987年に創設。平和目的に限定した利用体制、従来は実験・観測の支援研究手段に過ぎなかったシミュレーションを実験・観測と対応、あるいはそれらを先導しうるものという位置づけまで高めたことが表彰理由。

平成15年度情報処理学会業績賞（2004年5月）

情報処理学会業績賞は、情報技術に関する新しい発明、新しい機器や方式の開発・改良、あるいは事業化プロジェクトの推進において、顕著な業績をあげ、産業分野への貢献が明確になったものに対して、情報処理学会が表彰を行う制度。

ゴードンベル賞（平成16年11月SC2004にて受賞）

並列計算機を用いた科学技術計算において、性能を含めた最も優れた成果を出した者に与えられる、ハイ・パフォーマンス・コンピューティング分野で最も権威があるゴードンベル賞を、地球シミュレータセンター固体地球シミュレーション研究グループ 陰山グループリーダーらが受賞。

受賞論文；

A 15.2 Tflops Simulation of Geodynamo on the Earth Simulator

（地球シミュレータを用いた15.2テラフロップスの地磁気ダイナモシミュレーション）